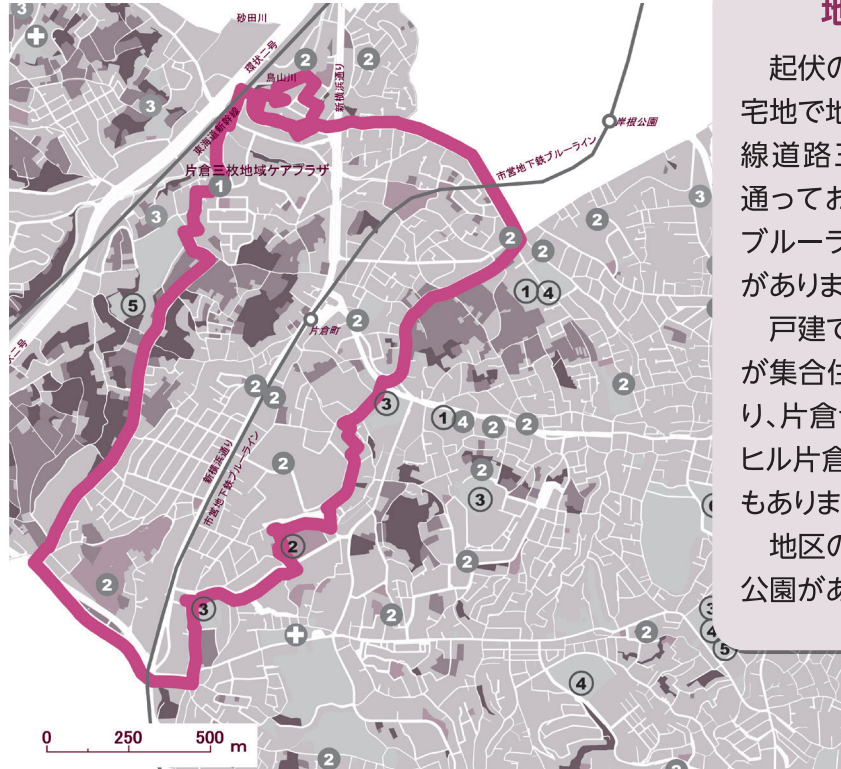




片倉地区

- ① 集会施設、文化施設
地区センター等
- ② スポーツ施設
- ③ 小学校
- ④ 中学校
- ⑤ 高校
- ⑥ 大学
- ① 地域ケアプラザ
地域包括支援センター
- ② 保育所・幼稚園
子育て支援拠点
- ③ 高齢者施設
- ④ 障害者施設
- ⑤ その他の福祉
保健施設
- ⊕ 病院
- 樹林地
- 農地
- 公園
- 文教厚生施設用地



地区概要

起伏のある台地上の住宅地で区内を南北に幹線道路三ツ沢鳥山線が通っており、市営地下鉄ブルーラインの片倉町駅があります。

戸建て住宅が多いですが集合住宅も散在しており、片倉台団地、グリーンヒル片倉などの集合住宅もあります。

地区の南には片倉自然公園があります。

地区基礎データ

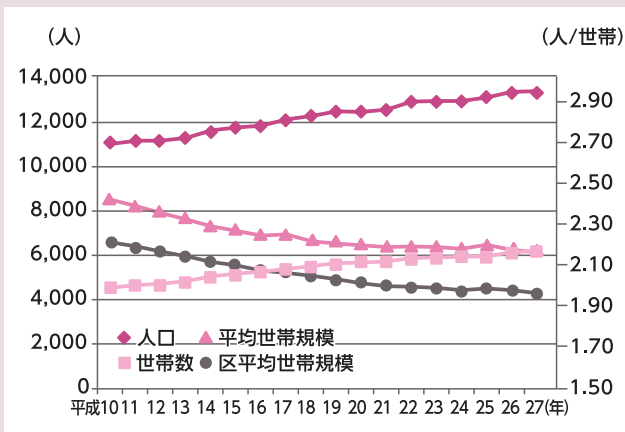
●人口、世帯数等の概況(平成27年3月現在)

	片倉地区	神奈川区
総人口	13,264 人	232,788 人
0～14歳	1,844 人 (13.9%)	27,667 人 (11.9%)
15～64歳	8,728 人 (65.8%)	155,501 人 (66.8%)
65歳～	2,692 人 (20.3%)	49,620 人 (21.3%)
総世帯数	6,158 世帯	118,697 世帯
平均世帯規模	2.15 人/世帯	1.96 人/世帯
65歳以上一人暮らし世帯	723 世帯 (11.7%)	15,662 世帯 (13.2%)

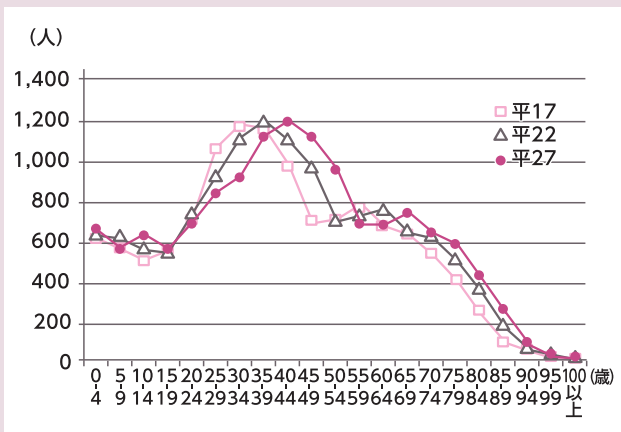
20歳台の転入増加傾向が続いており、35～49歳が多い人口構成になっています。年少人口が区の平均を上回っています。生産年齢人口や高齢人口は区の平均に比べて若干少なくなっています。

平均世帯規模は、近年安定しており、区の平均より大きい状態が続いています。

●人口、世帯数、平均世帯規模の動向



●年齢5歳別人口の動向



*「町別世帯と男女別人口」、「町丁別年齢別男女別人口」による。各年3月末現在

見守りから広げよう！ お互いの顔が見えて、安心して暮らせるまち片倉

これまでの取組とこれからに向けて

片倉地区は10の自治会町内会で構成されており、世帯数(最大で約1800世帯の自治会、最小で約70世帯の自治会)をはじめとして各自治会町内会の規模が大きく異なる地区となっています。

これまでの取組として、日頃の見守りと災害時の見守りかねて、高齢者へは「かたくら茶房」等の居場所づくりやふれあい訪問を実施してきました。子育て世代に関しては「すくすくかめっ子」等の親子の居場所づくりと見守りに取り組んでいます。さらに支え合いマップや災害時要援護者の名簿を作成するとともに、防犯パトロールや防災訓練に取り組んできました。

自治会町内会の規模や特徴は様々ですが、今後も各町内が互いに協力し、見守りを基盤として「お互いの顔が見えて、安心して暮らせるまち片倉」となるよう取組を進めていきます。



かたくら亀のつどい



連合の体育祭

目標1 日常と災害時を兼ねた見守りを充実させよう

【取組内容】

- ◆支え合いマップ等の作成を通し、要援護者を把握していく
- ◆各町内会の規模や特徴に合った見守りの体制づくりと充実
- ◆サロン等の居場所を増やし、参加者同士のつながりづくりとゆるやかな見守り合いをすすめる

目標2 防犯と防災の取組をすすめよう

【取組内容】

- ◆防犯パトロール(防犯見守り隊)を充実させる
- ◆隣近所に参加を呼びかけ、安否確認を含めた防災訓練を実施する
- ◆災害時要援護者の方の情報を定期的に確認し、発災時の支援者を決めておく

目標3 楽しいイベントを通して 新たな担い手を発掘、育成しよう

【取組内容】

- ◆イベントの開催のお知らせ等を含め、自治会町内会の役割や取組をPRする
- ◆子どもも大人も集まる楽しいイベント(お祭り・運動会等)を開催し、準備や運営に若手の力をかりる
- ◆イベントの手伝いを広く公募する(回覧板で募る等)